

家計調査にみる貯蓄・負債現在高 平成18年平均

平成12年まで家計調査の附帯調査として貯蓄動向調査を毎年12月現在で世帯の貯蓄及び負債現在高に関して調査していましたが、近年貯蓄の水準が高まり、貯蓄が収支に与える影響が大きくなってきたため、世帯の収支との関係を分析することを目的に平成14年1月から貯蓄・負債現在高についても家計調査の中で調査を実施しています。

高知市の結果（二人以上の世帯）

高知市の調査結果は、二人以上の世帯81世帯について集計され、平均世帯人員3.05人、平均有業人員1.39人、世帯主の平均年齢51.9歳、持家率68.9%となっています。

(1) 平均貯蓄現在高は1287万円

平成18年平均における1世帯当たりの貯蓄現在高は1,287万円となっています。

貯蓄の種類別にみると、定期性預貯金が478万円（貯蓄現在高に占める割合37.1%）と最も多く、次いで生命保険など407万円（同31.6%）、有価証券221万円（同17.1%）、通貨性預貯金170万円（同13.2%）、金融機関外11万円（同0.9%）となっています。

年間収入は609万円で、貯蓄年収比（貯蓄現在高の年間収入に対する比）は、211.3%となり、貯蓄現在高は年間収入の約2.1倍となっています。

表1 平均貯蓄現在高

	貯蓄現在高						年間収入 (万円)	貯蓄年収比 (%)
	(万円)	通貨性預貯金	定期性預貯金	生命保険など	有価証券	金融機関外		
高知市	1,287	170	478	407	221	11	609	211.3
全国平均	1,722	284	717	426	248	48	645	267.0

(2) 平均負債現在高は508万円

平成18年平均における1世帯当たりの負債現在高は508万円となっています。

負債の種類別にみると、住宅・土地のための負債が422万円（負債現在高に占める割合83.1%）と最も多くなっています。

表2 平均負債現在高

	負債現在高				負債現在高に占める住宅・土地のための負債割合 (2)/(1) (%)	年間収入 (3) (万円)	負債年収比	
	(1) (万円)	住宅・土地のための負債(2)	住宅・土地以外の負債	月賦・年賦			負債現在高 (1)/(3) (%)	住宅・土地のための負債 (2)/(3) (%)
		(万円)	(万円)	(万円)				
高知市	508	422	69	17	83.1	609	83.4	69.3
全国平均	506	440	50	15	87.0	645	78.4	68.2